

西陣  
NISHI JIN

国登録有形文化財

町家でくらしの体験

TONDAYA

十代目富田屋

くらしの美術館

予約制



「富田屋」外観

文化財である呉服問屋の町家  
「富田屋」で文化体験してみませんか。

ゆっくりお茶を楽しみながら、  
京都のしきたりも学べるチャンスです。

基本プラン 2,160円 約45分

町家見学 + 「京都のしきたり」を学びます  
お飲物つき

【町家見学】「富田屋」の歴史と家具・調度品をご覧  
頂きながら町家についてご説明させて頂きます。

【京都のしきたりを学ぶ】代々受け継がれている商家  
のしきたりや暮らしぶりをご説明し、本当の京都を  
知って頂けます。

オプションプラン

(基本プランをお選びの上、オプションプランをご追加ください)

お着物体験 4,360円 約15分

最高級・正絹の着物で「着付け」を学びます  
カーディガンをはあるように、簡単に着物姿に变身  
出来ます。そして、着付け・立ち居振る舞いも学びます。

お茶席体験 2,160円 約15分

茶室「楽寿」にてお茶の心を学びながら  
お点前を頂きます

お茶席でのマナー、お茶・お菓子のいただき方など、  
知ってあきたい基本を学びます。

ぶぶづけ弁当 3,240円 約60分

西陣の伝統弁当の復元 (茶席の後の点心)

一日二十客までとなっております(団体予約の場合はご相談下さい)  
百年前の鏝細の机の上で明治時代の器で召し上がり  
いただきます。文化財の一室でお弁当をお楽しみ下さい。  
ご希望に応じ、和食の食べ方カルチャー付き。

ご予約

お早めにお申し込み下さい

Tel. (075) 432-6701

Fax. (075) 432-6702

E-mail info@tondaya.co.jp

ご予約受付時間 / 9:00 ~ 17:00

休館日 / 月曜日・年末・年始

■ご予約の際ご希望の日時・ご希望のコースをお伝えく  
ださい。オプションをご希望の方は、基本プランを  
お選びの上、オプションプランをご追加ください。

■オプションプランのみはお選び頂けません。  
■キャンセルは2日前までは無料・前日は半額・当日は  
全額お客様のご負担となりますので予めご了承ください。

西陣・京町家 富田屋

登録有形文化財

http://www.tondaya.co.jp

〒602-8226

京都市上京区大宮通一条上ル

Tel. (075) 432-6701

Fax. (075) 432-6702

交通・京都駅よりタクシーで 約15分

市バス・一条戻り橋下車 徒歩約 3分

今出川大宮下車 徒歩約 3分



〔沿革〕

1885年 (明治18年)  
店舗および住居として十代目富田屋藤  
兵衛によって建てられる。

1935年 (昭和10年)  
奥座敷・茶室を増築。茶室「楽寿」は  
武者小路千家官休庵九代家元 千宗守  
氏の命名。

1994年 (平成6年)  
きもの伝統文化を伝承する目的で  
「和道 古都の風」着物マナースクール・  
現「古都の風 和道会」を開設。

1999年 (平成11年)  
国の登録有形文化財に指定される。

2002年 (平成14年)  
京都市オスカー賞受賞。

十代目富田屋

# 町家見学

## 仕來爲を学ぶ

その年の恵方に向けてお祀りする「歳徳神」



お正月のしつらえ

【西陣・呉服問屋の本店の姿をそのままに】  
伏見で両替商を営んでいた富田屋が、西陣産地問屋システムを作り上げ現商家を建てたのは明治十八年です。明治期の典型的な大店の町家として国の登録有形文化財の指定を受けております。現十三代目。

## 【こだわりの本物の町家の造り】

「表屋造り」店舗と奥の住居からなる京の町家建築様式。通りに面した間口八間を有する店舗構えから、奥へ奥へとのびる空間が想像できるでしょう。神秘的な三つの蔵と季節と風の流れを感じる六つの坪庭、奥には茶室「華春」、能が舞われた離れ座敷など、本物にこだわった西陣の秘めたる暮らしがうかがえます。

木材にこだわりの主人自ら山に入って選り抜いた切れ目のない十メートルの赤松の廊下が歴史を感じさせます。



赤松の廊下



能を舞った離れ座敷・夏のしつらえ

## 【西陣の歴史と暮らしを今に伝える「生きた町家」】

七九四年に平安京ができて以来、神様に守られ、神様と共に暮らしきたりがあります。今も毎朝炊きたてのご飯と神水（井戸水）を各神様にお供えすることから一日が始まります。

心に住んでいる神様に、物を大切に敬い奉る心に、これが京都の伝統を守ってきた原点の精神です。

私ももては代々受け継いだこの家を京都の歴史や文化を伝える建物として保存することも公開しておりますが、見学頂くだけではない、暮らしのありようをも知って頂くことで本物の京都を伝えることが出来ると考えております。

京都では暮らしそのものが文化ですから様々な体験を通して「生きた町家」に触れて頂ければと思っております。

## 【まずは仕來爲を知って頂く】

毎日の神仏事、宮中からおくりきた行事、無病息災、家内安全の為の決まり事、全て先人の知恵であり、意味があります。そこには人々が仲良く安心して暮らす為の願いがこめられています。

町家体験コースで「しきたりを学ぶ」ことを基本とさせて頂いているのも、この精神を知ってほしいから、京町家を心から楽しんで頂けると思っているからです。



神様の開かずの蔵

## お着物体験



## 【美しい着物姿になる】

全て正絹の極上品の中から好きな着物を選んで頂き、着物姿が美しく見える着付けのコツを学びながら、着付けを体験して頂きます。

着物を着たときの立ち居振る舞いなどもお伝えしますので是非参考になさってください。

※お着物をお召しになる機会が多い方もぜひ一度お試しく下さい。



## 【お茶席での「心」や作法を学ぶ】

茶室「華春」にて、茶室の潤り口から頭を下げて心を無にして入っていくところから茶の心が始まります。ご経験の無いかたはもちろん、ご経験豊かな方もこの機会に茶室のしつらえなどご覧頂ければと思います。

※お着物を着て体験して頂くと、より茶道の立ち居振る舞いがご理解頂けます。

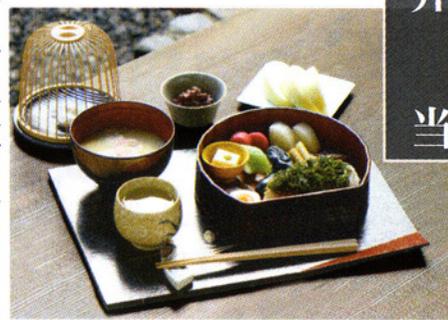


季節の和菓子と極上の薄茶

## 【茶会の点心「西陣伝統弁当」の復元】

### ぶぶづけ弁当

お茶会で、点心として出された伝統のお弁当を復元致しました。当時の風情を町家でゆっくりお楽しみください。



## 【百年前の机で明治の器を使って味わう】

文化財の一室で、代々の貯蔵品に囲まれてお手仕上げ頂きます。

※心のこもった手作りの逸品を、時間をかけてお作り致しておりますので、一日二十家までとさせていただきます。



秘蔵であった歴代の主人が集めました。伝統ある道具・調度類も公開を始めました。

## 【町家を守る女の精神】

「国の登録有形文化財」の指定を受けたのを機に「西陣くらしの美術館」として公開を始めました。

昔ながらの風習や生活を受け継ぐ家はほとんど残されておりません。

―着道楽京都の真ん中西陣―  
ここで呉服商を営み、毎朝家中の神さ



## 「富田屋」十三代目 田中 峰子

現在も老舗呉服商を営む「富田屋」京の着道楽・文化の中心西陣で女性が着物を生活するという美しさが、そしてその所作へのこだわりや代々受け継がれる精神が、生活をより上質にする。この文化の大切さを広めるべく家業を営む傍ら「富田屋」を公開し、古き良き時代の生き方を伝えている。

「古都の風 和道会」主宰

経歴 毎日フィニッシングスクール講師  
サンケイリビング文化センター講師  
同志社大学講師  
数多くのテレビ番組出演

「いけずのぶぶづけ弁当」  
三、〇〇円をご用意致しております。  
※季節によって内容が変わります。